

年代	60代～	
団体名	柏原日本語教室「こんにちは」	
氏名	代表 時里 孝子	
連絡先	TEL	0795-72-3250
	FAX	0795-72-3250
	E-mail	tokisato@mse.biglobe.ne.jp
活動の内容	<p>丹波地域在住の外国人の日本語能力向上のための学習支援と地域の文化、習慣を理解するための支援。また、この地域で生活するための生活支援全般。</p> <p>地域住民に対しては外国人を理解し受け入れていただくための、交流活動やフォーラムなどの開催。小学生、中学生、高校生との交流や料理教室、日帰り京都旅行、季節毎のイベント開催。</p>	
活動のきっかけ	1998年兵庫県国際交流協会主催の「日本語教育ボランティア養成講座」を受講し、教室開設の要請を受けたのがきっかけ。	
活動の頻度	<p>学習支援 週4回</p> <p>生活支援 随時</p>	
活動してよかったこと、困ったこと	<p>(よかったこと)</p> <p>日本語が話せなかった学習者(外国人)が日本語が少しずつ話せるようになるにつれて、表情が明るくなっていく様子を見たとき。また、上達した学習者がいろいろな分野に社会進出できるようになったこと。帰国した人たちがメールや手紙で近況を知らせてくれること。いろいろな国の文化や考え方にふれることができるなど与えられることも多い。</p> <p>(困ったこと)</p> <p>同じ国の人同士のいがみ合いや嫉妬。なかなか上達しない学習者の指導。</p>	
思い出に残るエピソード	<p>10月21日日本語教室恒例の京都旅行に行った。といっても3年ぶりだった。</p> <p>インドネシアの15名が帰国したり、学習者の出産が続いたり2年間休んでいた。秋晴れの早朝、総勢50名大型バスで憧れの京都へ出発した。出発まもなく乗り物酔いが始まった。初めてバスに乗るベトナムの人もある。てんやわんやして最初の見学地清水寺に着いた。円山公園で昼食のお弁当を食べる頃には皆すっかり元気になった。帰りは誰も酔う者もなく楽しい1日が終わった。乗り物酔いの苦しさも忘れ「今度は紅葉が見たい!」</p> <p>“ そうだね、帰国するまでにいろいろ思い出つくるうねー ”</p>	

活動を始めたい人への アドバイス	私たちの教室はアジア系の人たちがほとんどで、そんなに華やかな世界ではない。反面、私たちが忘れてしまったような素朴さ純粹さに“はっとする”こともある。地道にこつこつ、急がないことが大切。「教える」という押し付けでなく、「学びあう」気持とそれぞれの人格を認める気持が絶対必要。
---------------------	--